

# 「九州建設技術フォーラム2016」

【開催報告】

平成28年12月2日

# 1. 「九州建設技術フォーラム2016」開催結果報告

## 1. 1 実施概要

【実施日時】 1日目：平成28年10月17日（月） 13：00～17：00  
2日目：平成28年10月18日（火） 10：00～16：30

【実施場所】 福岡国際会議場  
福岡市博多区石城町 TEL / 092-262-4700

### 【実施内容】

#### ●1日目

##### 1) 基調講演

- ・演題：「九州の地震の特徴」
- ・講師：清水 洋氏（九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター長）



##### 2) プレゼンテーション

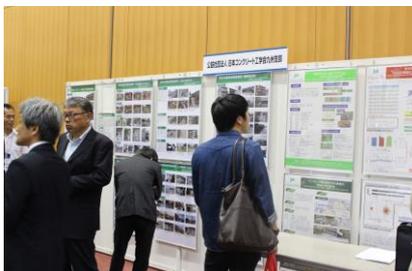
- 時間 発表時間10分 質疑応答・入れ替え時間5分
- テーマ 「維持管理」「安全防災」「ICT」「行政（国）関係」
- 発表数 17（発表者数17者）  
（企業・協会等：15 行政：国2）  
「行政：九州技術事務所/下関港湾空港技術調査事務所」



##### 3) ポスターセッション

- 出展数 15  
（企業・協会等：3 学会関係：4 行政：国1 行政：地方自治体7）

#### ▼2F学会・協会等展示



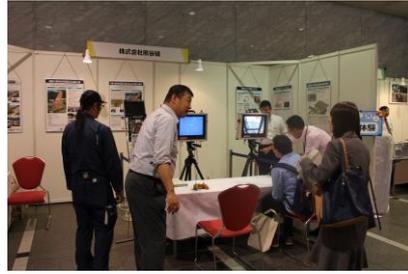
#### ▼1F自治体パネル展示



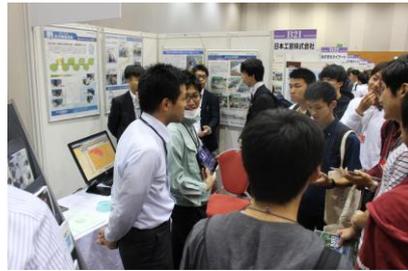
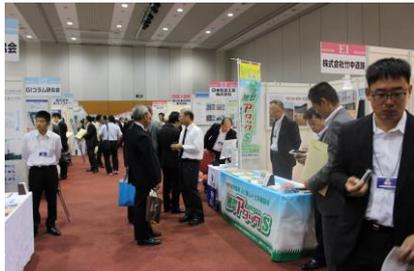
#### 4) 技術情報の展示

- テーマ 「安全防災」「環境」「コスト」「品質」「ICT」「維持管理」学会関係
- 出展数 103ブース(出展者数:103者)

##### ▼1Fロビー



##### ▼2F多目的ホール



#### 5) 新技術・i-Construction相談

下関港湾空港技術調査事務所、九州技術事務所、九州地方整備局施工企画課、港湾空港部の4部署による技術相談の対応

##### ▼新技術相談窓口



##### ▼i-Construction相談窓口



## ● 2日目

### 1) 特別講演

- ・ 演題：「平成28年熊本地震への対応について」
- ・ 講師：小平 卓氏（九州地方整備局企画部長）



### 2) プレゼンテーション

- 時間 発表時間10分 質疑応答・入れ替え時間5分
- テーマ 「安全防災」「環境」「品質」「コスト」「学会関係」  
「学会：土木学会西部支部・地盤工学会九州支部・九州橋梁・構造工学会」
- 発表数 23（発表者数24者）  
（企業・協会等：21 学会関係：3）

#### ▼ 午前の部：学会（3Fメインホール）



#### ▼ 午後の部：企業・協会（2F多目的ホール）



### 3) ポスターセッション ※1日目共通

#### ▼ 2F学会・協会等展示



#### ▼ 1F自治体パネル展示



#### 4) 技術情報の展示 ※1日目共通

- テーマ 「安全防災」「環境」「コスト」「品質」「ICT」「維持管理」学会関係
- 出展数 103ブース(出展者数:103者)

##### ▼1Fロビー



##### ▼2F多目的ホール



#### 5) 新技術・i-Construction相談 ※1日目共通

※1日目共通

##### ▼新技術相談窓口



##### ▼i-Construction相談窓口

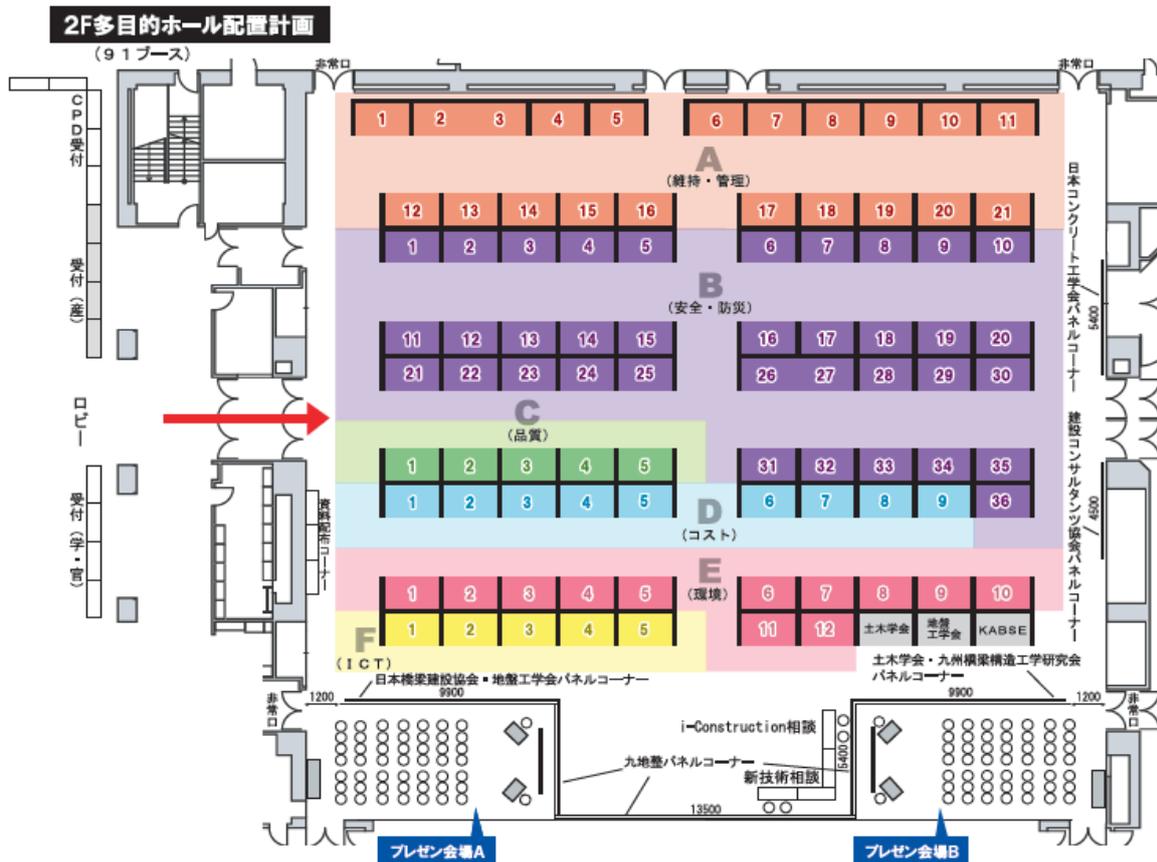


# ※会場配置図

## ▼ 1階展示ブース配置 & 自治体パネル展示コーナー



## ▼ 2階展示ブース配置 & プレゼン会場 & ポスターセッション配置



# 1. 「九州建設技術フォーラム2016」開催結果報告

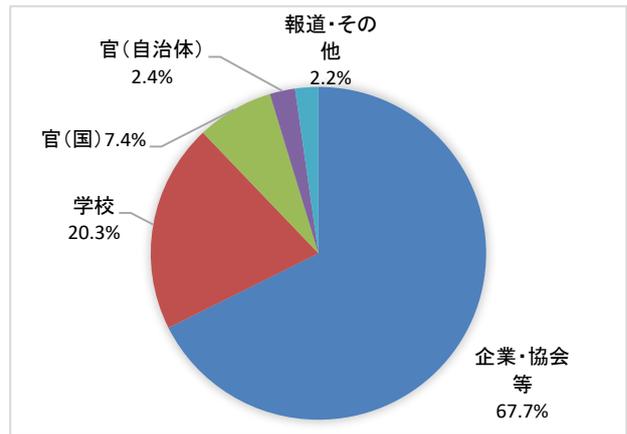
## 1. 2 実施結果

### ①全体入場者数【2,952人（出展関係者含む）】

- ・今年度の入場者数全体は、昨年度比較で180人の増であった。産官学別にみると、「産」が約80人、「学」が約140人の増加だった。一方で例年ブース出展者から来場者が少ないとの指摘がある「官」は、国、自治体ともに前回より減少となった。
- ・プログラム別の来場者では、今年度は「基調講演」（前回比140人増）、「特別講演」（前回比90人増）の来場者が大きく増加した。本年4月に熊本地震が発生したことを踏まえ、講演テーマに当震災に関連した内容を掲げたことで来場者の関心も高く、またアンケートでも時宜を得た内容、と評価する声が多数あった。
- ・都道府県別の来場者で比較した場合、前回同様に開催地である「福岡県」が約8割を占める結果に。九州圏外からの来場者を見た場合、全体では約50人増。都道府県別では「東京」が93人でトップ、次点は「大阪」の43人だった。また、今年度は関東甲信越や四国から初めて来場していただいた県が複数あった。

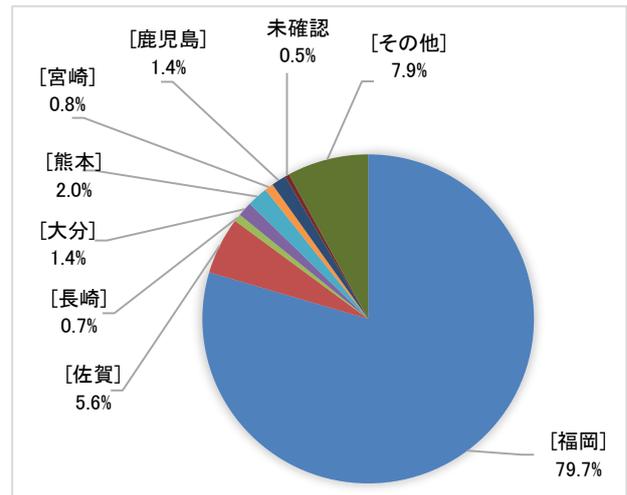
#### ■入場者数内訳

受付区分	受付数	%	昨年度
産（企業・協会等）	1996	67.7	1919
官（行政：国）	219	7.4	256
官（行政：自治体等）	72	2.4	127
学（学校関係）	599	20.3	458
報道・その他	66	2.2	12
合計	2952	100	2772



#### ■参加者の県別内訳（※受付簿で確認のみ）

都道府県名	人数	%	昨年度
福岡	2349	79.7	2216
佐賀	165	5.6	167
長崎	22	0.7	22
大分	42	1.4	52
熊本	60	2	52
宮崎	25	0.8	29
鹿児島	42	1.4	34
その他	234	7.9	188
未確認	13	0.5	12
合計	2952	100	2772



都道府県名	沖繩	山口	広島	岡山	鳥取	高知	香川	徳島	京都	兵庫	大阪	和歌山	三重	福井	岐阜	愛知	山梨	静岡	神奈川	東京	埼玉	千葉	茨城	新潟	宮城	岩手	秋田	北海道	合計
人数	1	5	15	1	5	2	1	1	3	7	43	2	1	5	2	7	1	1	1	93	3	4	5	6	4	4	2	9	234
昨年度	4	16	11	6	3	0	0	0	5	1	25	1	7	5	3	6	8	0	2	70	2	0	0	0	6	2	0	5	188

# 1. 「九州建設技術フォーラム2016」開催結果報告

## 1.3 出展技術内訳

### ●出展方法および所属団体別出展者総括表

属性	出展機関所属団体	出展・参加者数	
ブ ー ス 展 示	日本建設業連合会九州支部	9	
	日本道路建設業協会九州支部	3	
	日本建設機械施工協会九州支部	2	
	日本橋梁建設協会九州事務所	1	
	プレストレストコンクリート建設業協会	2	
	日本埋立浚渫協会九州支部	1	
	全国特定法面保護協会九州地方支部	3	
	九州コンクリート製品協会	3	
	建設コンサルタンツ協会九州支部	17	
	その他	63	
	学	土木学会西部支部	1
		地盤工学会九州支部	1
		九州橋梁・構造工学研究会	1
		西日本高速道路	3
	計	110	
プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	日本建設業連合会九州支部	2	
	日本道路建設業協会九州支部	1	
	日本橋梁建設協会九州事務所	0	
	日本埋立浚渫協会九州支部	1	
	全国特定法面保護協会九州地方支部	1	
	九州コンクリート製品協会	2	
	建設コンサルタンツ協会九州支部	1	
	その他	25	
	学	土木学会西部支部	2
		地盤工学会九州支部	2
		九州橋梁・構造工学研究会	2
	発 注 機 関	九州技術事務所	1
		下関港湾空港技術調査事務所	1
		西日本高速道路	3
	計(コマ)	44	

※産は団体に一部重複あり

※重複あり

# 1. 「九州建設技術フォーラム2016」開催結果報告

## ●技術分野別一覧

技術分野	今年度	昨年度
コスト	11	13
安全・防災	55	42
ICT	17	7
品質	12	16
維持管理	44	-
環境	19	25
土木学会西部支部	1	1
地盤工学会九州支部	1	1
九州橋梁・構造工学研究会	1	1
技術数 合計	161	106

## ●出展者内訳

新規出展者	22	28
継続（2年以上連続出展）	78	67
過去に参加	3	8
出展者総数	103	103

## ●技術情報の提供方法

ブース展示+プレゼン	41	42
ブース展示のみ	62	61
プレゼンのみ	2	2
カタログのみ	0	0
出展者総数	105	105

うち土木学会、地盤工学会、KABSE含む  
(九枝・下枝)

## ●ブース展示参加内訳

ブース展示参加出展者		今年度	昨年度
技術分野	品質	6	16
	ICT	8	7
	コスト	9	13
	安全・防災	40	39
	環境	12	25
	維持管理	24	-
	学	1	-
	学会	3	3
計		103	103

1F: 1  
1F: 3  
1F: 4  
1F: 3  
1F: 1 (佐賀大学・長崎大学連合)  
(土木学会、地盤工学会、KABSE)

## ●プレゼンテーション参加内訳

プレゼンテーション参加出展者		今年度	昨年度
技術分野	品質	3	8
	ICT	2	2
	コスト	3	5
	安全・防災	19	16
	環境	4	8
	維持管理	5	-
	その他(学会・発注者・官)	8	7
	計(コマ)	44	46

(土木学会、地盤工学会、九州橋梁・構造工学研究会、九州技術事務所  
下関港湾空港技術調査事務所)

## ●ポスターセッション参加者

ポスターセッション参加者	14	11
企業・協会等	3	3
学会関係	3	3
行政(国)	1	1
行政(地方自治体)	7	4
出展者総数	14	11

(九州地方整備局)  
(福岡県・佐賀県・熊本県・宮崎県・福岡市・北九州市・熊本市)

## ●出展者所在地

福岡	59	59
佐賀	4.5	4
長崎	0.5	1
大分	5	3
熊本	2	4
鹿児島	1	1
関東・甲信越地方	15	13
近畿地方	7	9
中部地方	0	1
山口・中国地方	2	3
四国地方	0	0
北陸地方	2	2
北海道	1	2
東北地方	4	1
計	103	103

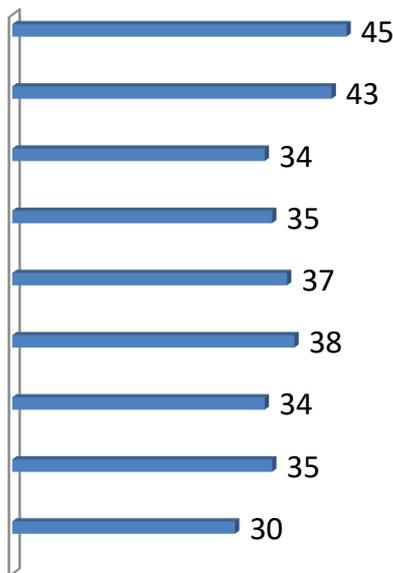
土木学会、地盤工学会、KABSE含む  
(佐賀大学0.5) ※佐賀大学と長崎大学は連合出展  
(長崎大学0.5) ※佐賀大学と長崎大学は連合出展

# 1. 「九州建設技術フォーラム2016」開催結果報告

## 1. 4 プレゼンテーション聴講者数一覧

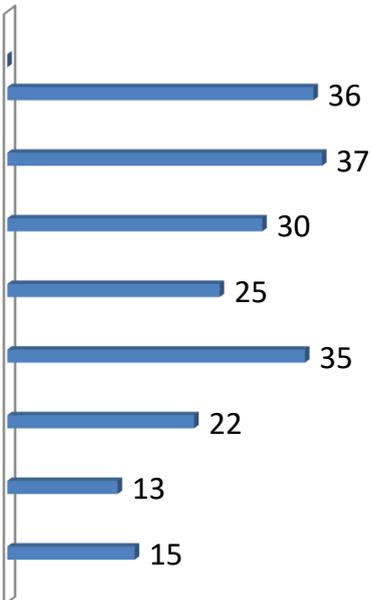
10月17日 ●A会場

時間	順番	プレゼン者名・テーマ	聴講者数
14:30	1	ラック抽出ソフトによるコンクリート部材のひび割れ計測技術の紹介 株式会社保全工学研究所	45
14:45	2	トンネル覆工点検システム 西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社	43
15:00	3	真空吸着型圧力調整注入工法 株式会社栄組	34
15:15	4	スリットガード(円型水路補強金具) 西日本高速道路メンテナンス九州株式会社	35
15:30	5	業務車両の膨大な走行データを利用した路面評価技術 JIPテクノサイエンス株式会社	37
15:45	6	大分川ダムにおけるICT施工の取組 鹿島建設株式会社	38
16:00	7	JACICIにおけるCIMの取組 一般財団法人日本建設情報総合センター	34
16:15	8	津波に対する防波堤の安定性の検証について 国土交通省下関港湾空港技術調査事務所	35
16:30	9	新技術の活用状況と活用促進の取組について 国土交通省九州技術事務所	30



10月17日 ●B会場

時間	順番	プレゼン者名・テーマ	聴講者数
14:45	1	統合型地盤監視ネットワークシステム 西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社	36
15:00	2	硬質地盤クリア工法 一般社団法人 全国圧入協会	37
15:15	3	V-JET工法 三信建設工業株式会社	30
15:30	4	3次元変位計測システム【ダムシス】 計測ネットサービス株式会社	25
15:45	5	法面ロックボルトの新技術 災対新技術研究会	35
16:00	6	超大型モノレール運搬システム 内田産業株式会社	22
16:15	7	乾式メタルセラミックパネル 株式会社ヒロコーポレーション	13
16:30	8	セーフティークライマー工法 セーフティークライマー協会	15



# 1. 「九州建設技術フォーラム2016」開催結果報告

## 1. 4 プレゼンテーション聴講者数一覧

10月18日 ●午前中:メインホール 午後:A会場

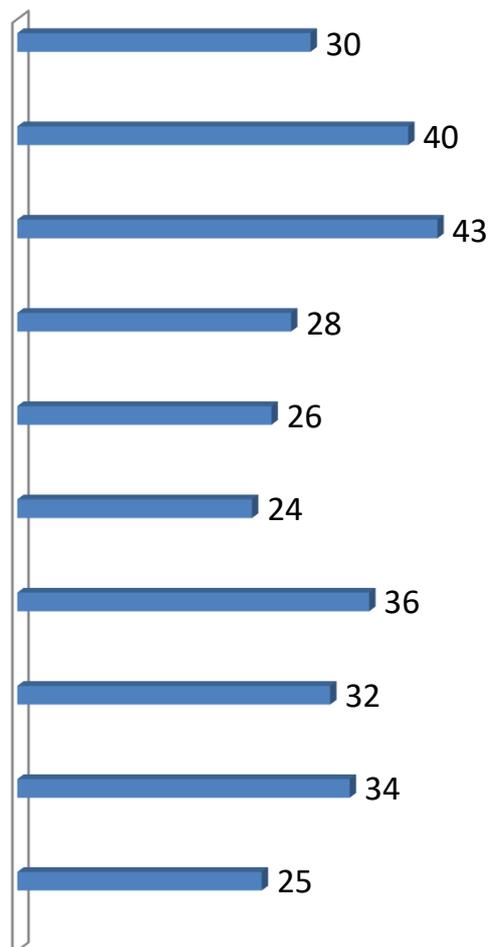
時間	順番	プレゼン者名・テーマ	聴講者数
11:00	1	①平成28年熊本地震における地盤災害 地盤工学会九州支部	290
11:30	2	②平成28年熊本地震の被害概要と被災経験から学ぶもの 土木学会西部支部・九州橋梁・構造工学研究会	290
12:30		【休憩】	
13:15	3	延長床板システムプレキャスト工法 株式会社ガイアート	25
13:30	4	STマイクロパイル工法 NIJ研究会 西日本支部	32
13:45	5	SAVE-SPI工法 株式会社不動テトラ	26
14:00	6	自然災害防災システムZEROSAI シスメット株式会社	28
14:15	7	Bライン側溝 株式会社ヤマウ	33
14:30	8	水路の敷段差を不要とした無動力自動開閉ゲート 旭インベックス株式会社	28
14:45	9	地山補強土 PAN WALL工法 PAN WALL工法協会	34
15:00	10	丸太打設液状化対策&カーボンストック工法 木材活用地盤対策研究会	46
15:15	11	Geo BANK工法 Geo BANK工法研究会	36
15:30	12	GIB工法(落石衝撃緩衝工法) GIB工法研究会	29
15:45	13	ユニラップ工法 ユニラップ工法研究会	21

# 1. 「九州建設技術フォーラム2016」開催結果報告

## 1. 4 プレゼンテーション聴講者数一覧

10月18日 ●B会場

時間	順番	プレゼン者名・テーマ	聴講者数
13:15	1	エポコラム工法	30
		エポコラム協会九州支部	
13:30	2	WILL工法(スラリー撈動攪拌工法)	40
		WILL工法協会	
13:45	3	ジオタイザーによる軟弱土改良	43
		新日鐵住金株式会社	
14:00	4	災害復旧・復興向け固化材の施工事例	28
		宇部マテリアルズ株式会社	
14:15	5	自然環境に配慮した緑化工法について	26
		長繊維緑化協会	
14:30	6	レストム工法	24
		レストム工法研究会西日本支部	
14:45	7	まちづくりの夢・アイデアの紹介と支援	36
		一般社団法人建設コンサルタンツ協会 九州支部	
15:00	8	部分パイプクーリング工法(覆工コンクリートひび割れ抑制技術)	32
		株式会社安藤・間	
15:15	9	多分割カルバート工法	34
		株式会社ヤマックス	
15:30	10	マッドミキサー工法	25
		マッドミキサー工法協会	

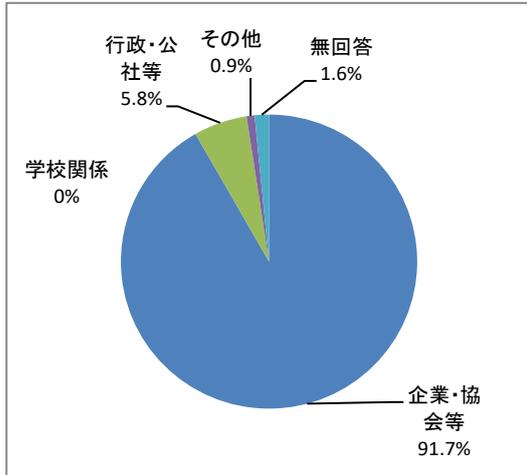


# 1. 「九州建設技術フォーラム2016」開催結果報告

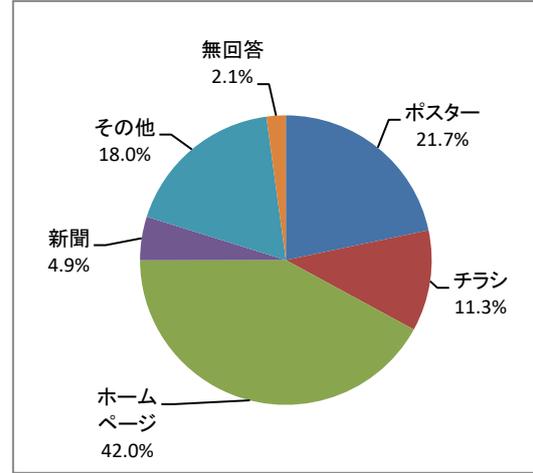
## 1.5 アンケート集計結果

【一般来場者】（アンケート集計数：1028件）

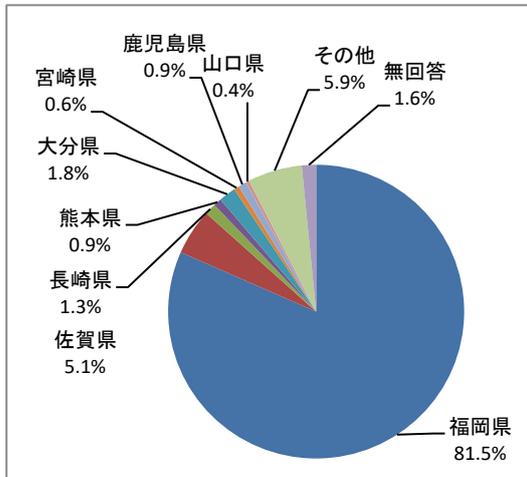
### ●職業は？



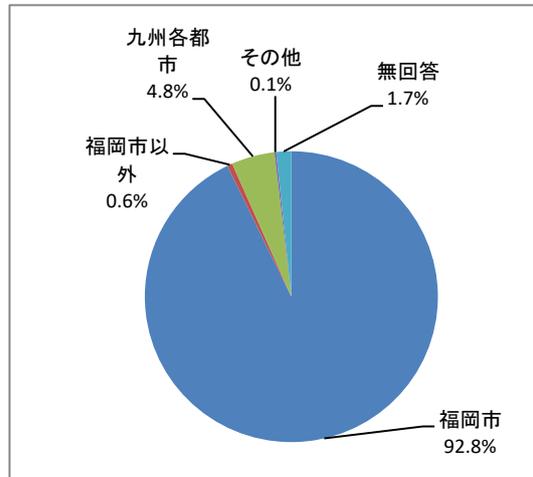
### ●何で知りましたか？



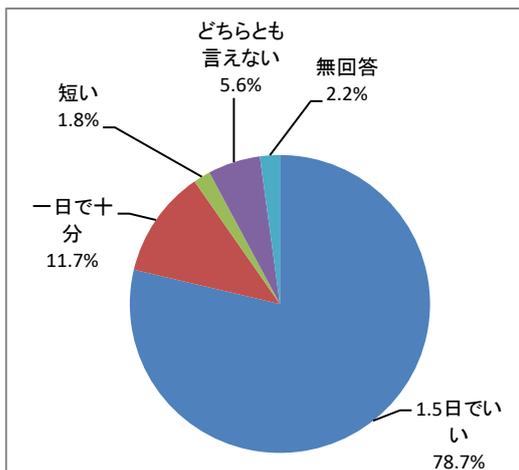
### ●どちらから来られましたか？



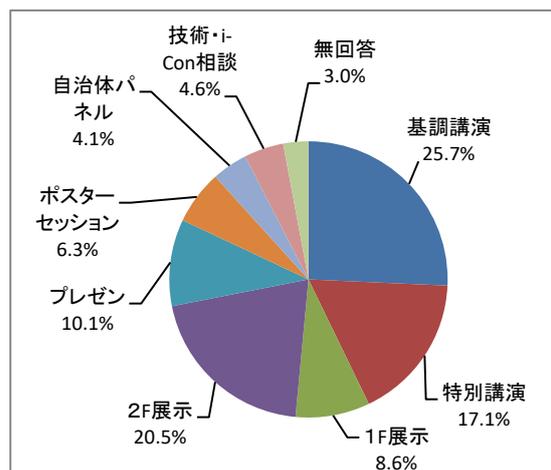
### ●望ましい開催地は？



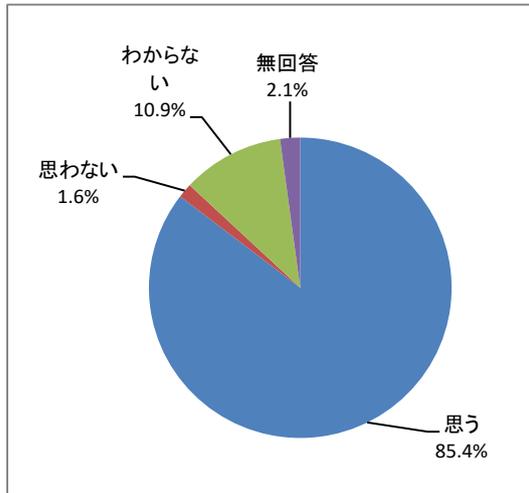
### ●開催日数の希望は？



### ●印象に残ったプログラムは？



●今後参加したいですか？



【学生】（アンケート集計数：288件）

●関心を持ったプログラムは？

